#### 公益社団法人

#### 東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会 会報 第30号 2023, 01, 31 発行



目 次 1.ご挨拶

- 2.東京都委託施術者講習会開催報告
- 3.事業局報告 学術局 スポーツ災害支援局 総務局 広報局 組織強化 保険局 鍼灸経営研究班
- 4.療養費取扱いセミナー (初級者向け) 抜粋 part2
- 5.ご案内
  - (1)メーリングリスト参加のお願い
  - (2) 都師会チャンネル
- 6.特別寄稿> 「鍼灸マンダラ」~東洋思想と鍼灸~



# 1. ご挨拶

遅ればせながらではございますが、本年も宜しくお願 い申し上げます。

コロナウイルスもまだまだ猛威を振るっている中では ございますが、5 月には、2 類感染症から 5 類感染症 へと区分変更が行われる予定となっているなど、徐々 に日常が戻りつつあるように感じております。

長きに渡ったコロナ禍で、私たちの生活も大きく変化 してまいりました。

生活の変化は、体調の変化にも大きく影響しているも のと思います。以前の生活に戻っていく中で、以前と変 わらぬ生活を送るために、私たちはりきゅう師・マッサ ージ師の力が必要になってくることと思います。

「禍福は糾える縄の如し」と申します。

明るい兆しが見えてきた中ですので、会員の皆様にと って幸多き一年になることを、理事一同祈念申し上げ ます。

## 2. 東京都委託施術者講習会開催報告

参加者の方からの感想をお届けします。



# ◇第4回 鳥海春樹先生「コリを測る一鍼灸医学の本質的指標をどう活用するか」

10月16日(日)14:00~17:00

千代田区神田司町 NATULUCK 淡路町にて

#### 「鳥海節のススメ」

「おい、川井、助手しなさい!助手!!!」

説得力のあるデータ、慶応義塾大学病院で培われた知識、医師を唸らせる論理力、それらを引っ提げて講演されるのに話はいつも脱線気味。

そして、臨床披露に移るといきなり後ろの席で座る私 に声をかけてきた。

事前に打ち合わせなどない、何故なら臨床は臨機応変 を尊ぶからだ。

鳥海春樹先生は優れた研究者でありながら、優れた臨 床家でもある。東西の医学を学び、慶応義塾大学病院 に鍼灸施術を取り入れさせた辣腕のあはき師。

しかし偉ぶることはない。

先達に気遣い、後輩に熱心に語る。

そしてなによりも、鍼灸施術を愛する慶応ボーイなのだ。 「ほら、これ、CORI が取れたでしょ?」

遠隔治療で患者役の参加者の CORI を取る。鳥海先生が提唱する CORI-map は小難しい理論ではない。

多くの臨床家の経験則に基づく臨床観を理論化させる方法なのだ。

「医者から鍼灸のエビデンスは? と聞かれるでしょ? 俺は知らねーと答える。そして、知らないから一緒に作 りましょうよ、と巻き込むんだよ」

今日の講演でも鳥海節によって多くの鍼灸師が巻き込まれていく。

いつしか日本地図に鳥海先生の考えに賛同する病院や 鍼灸院の TORI-map が出来るその日まで鳥海節は継 がれていく……かもしれない。 《正会員 川井さん》





# ◇第5回 芦野純夫先生「教育の内容や実技に対して」ー鍼灸は医業か医業類似行為か(3)-

10月30日(日)14:00~17:00

東京都千代田区神田鍛冶町3丁目5-12大橋ビル 401 RIVERLD神田 にて

#### 「芦野先生講習会に参加して」

今回の芦野先生の講習会に参加した動機は、かねてよりあはき法の不備の解決に関心があり多くの情報に触れたいと思ったからです。戦後、最も早く整備された公的職業資格のひとつでありながら、その成立や現状に至る経緯などの文字情報は決して十分に存在すると言い難いことは都師会ご所属の皆様もご承知のところと思います。そのような免許制度について最前列でリアルタイムで関わってこられた。芦野先生の今回のお話を聴き、あらためて登場人物の多さ、誤解・偏見・知識の不

十分に端を発した"不幸"の多さに面食らっているところです。どこから手を付けたらいいかわからない」とは何度となくつぶやいてきた言葉ですが、講習会の帰り道、より重々しく同じ言葉をつぶやいていました。あはき法、そしてあはき師の現状をあるべき姿にするためには芦野先生のお話を文字情報にして、社会との交渉の場で使える資料にできたらよいと思いました。そのために私にできることを考えてみよう、そのような思いが湧く貴重な講習会でした。



### ◇第6回荒深公泰先生「ほうれい線は原因から 治す」

日時:11月27日(日))13:00~16:00

会場:NATULUCK 淡路町 住所:千代田区神田司町 2

-6 荒木ビル 7 階

#### 「荒深先生講習会参加して」

当日は現地 30名 web70名の多くの方に申込み参加を頂きました。また、I'SSIN 社様より鍼の提供もして頂きました。講師の荒深先生の「講義の中でできるだけ多く鍼を打って、全員にある程度の技術を身につけて帰ってほしい」という熱い思いで、講義は実技中心に行われました。web 参加の方にも画面を通してマンツーマンで指導して頂きました。講義終了後は皆さまから「効果を実感した」、「自分で自分に打てるようになって嬉しい」など喜びの声を聞くことができました。講習会

の内容は都師会の YouTube でもアップされていますので、気になる方はぜひご覧ください。

《女性局 今泉さん》

#### 「とても濃厚な時間でした・・」

都師会の講習は教科書では学べない内容を実践的に学べる事、また様々な先生方と一緒に学ぶ事が出来るため手技や治療の捉え方についても参考になります。

今回荒深先生のほうれい線のアプローチは美容鍼と言っても顔に打たず、想像していなかった方法でした。初めて耳や顔に打つ鍼も丁寧に教えて頂けて学生のうちにみっちり実技を盛り込んだ講習を受けることができ、とても濃厚な時間でした。

さらに美容としてだけでなく噛み合わせや口腔衛生に も繋がる事、治療方法をどう活かすかというお話もと ても参考になりました。 《学生 Y.H さん》





# ◇第7回 兵頭明先生「介護と鍼灸-「認知症の人に対する鍼灸治療の実績および今後の可能性について」

12月18日(日)13:30~16:30

ふれあい貸し会議室 秋葉原 A - ふれあい貸し会議室 秋葉原滝上 にて

#### 「兵頭先生講習会参加して」

講師は学校法人衛生学園 中医学教育臨床支援センター長天津中医薬大学 客員教授(一社)老人病研究会常務理事兵頭 明先生。

この分野は今までも都師会として、業界として重視しなければならない課題であると考え取り組んできましたが、今回は中医学の立場からのアプローチについて勉強しようと言うことで企画しました。

あはき師が活躍出来る分野としての認知症対策。兵頭 先生は

- ①認知症は遅らせられるが止められない
- ②脳にアミロイドβやタウタンパク質等のゴミが、数十年かけて貯まっていくことにより発症する

とされ、その予防には気血水の循環改善がポイントとお 話しされました。

そして各種の「虚」に対して健康長寿実現をサポートするために開発された「三焦鍼法」を紹介頂きました。

同時に兵頭先生は惜しげもなく、こうしたことの出来る 鍼灸師の育成のために教材のダウンロードについても ご紹介されました。(処方や手技については紙面の関係 上、「中医学教育臨床支援センター」のホームページの 一番上の「文部科学省委託事業」の所をタップしてご確 認ください)最後にこれから施術を行う方へのメッセー ジを頂きました。簡単にご紹介させていただいて報告 とさせていただきます。

- ①認知症の方から学ばせていただく気持で優しく接する。 きっと自分も成長出来ていると実感できる。
- ②患者対施術者として接する以前に、人対人として接する。表情、言葉、動作に気を配る。
- ③思うようにならない事が多々有るが認知症の方の人格の尊重を第一に考え、対等の、人間として敬愛の念をもって寄り添う覚悟が必要。

④ご本人やご家族の訴えを受容共感し、その上で必要 と思われる情報や方法を提案、実施する。

⑤コミュニケーション能力が求められます。信頼関係を 築けるか否かで施術効果に差が出ると感じています。 都師会としても、御講演を生かし、ホームページ等でも 広げていきたいと思っております《副会長 石倉さん》





◇第8回「災害医療とは」小早川義孝先生 1月8日(日)13:00~16:10 千代田区内神田 ワイム神田 8A にて

災害支援講習会 DMAT(災害派遣医療チーム)の医師をお招きして、DMAT の活動と JIMTEF について。災害時にコメディカルに求められる事について、お話頂きました。

鍼灸マッサージ師は災害時に何ができるか?以前は個人・有志グループで関わっていましたが東日本大地震 以降日本の医療システムの一部として参加する道が出 来つつあります。今回は災害時に最初に支援にあたる DMAT の先生に講義をしてもらいました。小早川先生 が講義で話して頂いた通り日本の医療システムとして 参加するには業界としてまとまる必要があります。その 窓口になるべく(公社)全日本鍼灸マッサージ師会、(公 社)日本鍼灸師会で DSAM を作りました。(公社)全日 本鍼灸マッサージ師会の下部組織である弊会は東京の 取りまとめをする事が求められます。今回 DSAM に後 援をお願いし DSAM 委員の方に手伝ってもらったの は平時から繋がりを持つためです。災害時に急に体制 ができるわけではありません。



<DSAM 副委員長矢津田先生>

今回小早川先生から私たちの業界で認知されている話をしてもらいました。今後弊会、DSAM、JIMTEF の講習会にでて頂き、スポーツの現場に出て業界として動ける鍼灸マッサージ師が増えるきっかけになって頂けたらと思います。今回の講習会のビデオは YouTube に上げていますので災害支援に興味のある方は是非見てください。



※DMAT(ディマット):災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字。日本においては、災害の 発生直後の急性期(概ね48時間以内)から活動が開始できる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた医療チーム のことをいう。医師、看護師、救急救命士等で構成される。

※DSAM(ディーサム):災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会。Disaster Support Acupuncture Masseur joint Committeeの頭文字。(公社)日本鍼灸師会と(公社)全日本鍼灸マッサージ師会が共同で立ち上げた会。

※JIMTEF(ジムテフ)(公財)国際医療技術財団。 JapanInternationalMedicalTEechnologyFo undation 民間の国際医療協力 NGO 災害医療支援 団体。コメディカルを対象とした JIMTEF 災害医療研 修コースを主催。

「災害医療のことをもっと勉強したいて思います・・」 今まで被災経験がなかったので、「災害医療」に対して は、テレビで見た事件や災害直後、現場で緊迫した救急 救命のイメージしかありませんでした。今回の講習会を 通じて、災害医療に対し、もっと認識と理解を深めるこ とができました。そして、近年のコロナだけでなく、東日 本大震災から 12 年経つ今でも小早川先生が福島復興 支援に力を注いでいらっしゃることを知り、災害医療支 援は長期に渡って取組むことが重要だと知りました。 さらに、被災者や支援医師に対し、あはき師も鍼灸マッ サージの施術で医療支援ができる事を知りました。災 害弱者への支援は、個人的な行動よりも、災害医療につ いて研修を受けたうえ、チームで行動した方が、より多 くの方の助けになります。そして、各分野のチーム間も 普段から関わりや提携があった方がいざという時に統 括され効率よく働けることを学びました。講師の小早川 先生は、救急救命分野のエキスパートで、人間性も高く、 医療支援者の姿勢に感銘を受けました。これからは、コ

メディカルとして、災害医療のことを勉強したいと思い

《《既卒 M.S さん》

ます。

### 3.事業局活動報告

#### ●学術局

「初学者のための勉強会」開催状況は以下の通りです。

鈴木春子先生 10/02、11/06、

鈴木幸次郎先生 12/04

加藤蓬悦先生 11/23

戸ヶ崎正男先生 10/09、11/13、12/11、01/08

来年度の予定が決まりましたら、ホームページ等で告 知致します。

参加者の方々から感想を以下に紹介します。



#### ◆加藤蓬悦先生

日本の鍼灸の礎を築いたとされる柳谷素霊先生。

柳谷先生から直接指導を受けられた伊藤瑞鳳先生。伊藤先生から直接指導を受けられた加藤先生、連綿と受け継がれている心技に少しでも触れる事が出来たようで、贅沢な時間を過ごしました。もしかすると、今の鍼灸学校では経験出来ないかもしれませんね。第1回目は、伊藤瑞鳳先生考案の「竹の輪灸」を教わり、「本家の技」と言ったら大げさかもしれませんが、幅広い汎用性には驚きました。第2回目では、その心技に必要な「マインドセット」のお話でした。学校では教えてくれない「治療院経営」の事もお聞きしました。次は最終回です。それぞれ今の自分のフェーズによって出来る事と出来ない事があると思いますが、環境は整っています。このような勉強会を開催して下さりありがとうございました。

《新井さん》



#### ◆戸ヶ崎正男先生

今回の講義で経穴とツボ(異常な場)は違うと仰っていたのが、次の日になっても心に響いています。先生は、切経探穴の留意点として①方向、②姿勢、③適圧があることを説明されました。実技では、ペアになって大腸経を切るとき外側と内側それぞれの方向でどう感じるのかなど実験して、より理解が深まりました。そして座位では気がつかなかった首のコリが側臥位になると…!?こんなに姿勢の違いでツボの顔が変わってしまうのかと、驚きの連続でした。毎回戸ヶ崎先生の勉強会で刺激を受けて、本当に感動しています。このような機会を作ってくれた都師会に感謝しています。ありがとうございます。これからも初心者のためのこのような刺激的な場を設けていただきたいと切に願っております。

《三浦さん》





#### ◆鈴木春子先生

国立がん研究センターなどで長くがん患者さんの 鍼灸治療をされていた鈴木春子先生。そんな先生から、 ガン患者さんとの交流、臨床でどんな治療をされてい たのかなど、貴重なお話をたくさん聞けます。

本当に鍼灸師というのは医師や看護師とはまた違う立場で患者さんに寄り添い、治療は身体だけでなく、その方の心や魂とダイレクトに繋がる全人的なケアなのだなと思いました。また質問や疑問に対して、鈴木春子先生や臨床歴が長い受講者の先生、スタッフの先生が丁寧にお答えくださり大変有難いです。

《正会員 永長さん》



#### ●スポーツ災害支援局

# ◆中野ランニングフェスタ 2023 ケア活動のお誘い2023 年 3 月 12 日(日)

中野区鍼灸マッサージ師会からケア活動の協力の依頼が来ました。お手数してくれる人を募集します。ケアスタッフ(鍼ができるか確認中です。)運営スタッフを募集。 <参加条件>

#### 〇ケアスタッフ

- ・マッサージの免許を持っている。鍼に関しては確認中
- ・事故があった場合に対応できる損害賠償保険に入っている。
- ・消防か日赤の救急救命を受講している。(有効期限内) 〇運営スタッフ

・学生や運営・ケア活動に興味のある方申込期限 2月28日まで交通費1,000円支給(予定)

時間 8時~17時半(予定)

場所:中野四季の森公園(中野駅徒歩5分)

#### ◆普通救急救命講習会

普通救急救命講習を行います。スポーツ・災害ボランティアの現場で遭遇する緊急事態に備えて、救急救命の知識と技術(応急手当・心肺蘇生・AED 使用法等)を学びます。受講修了者には携帯できる救命技能認定証が交付されます。この救命講習受講はスポーツ・災害ケアボランティアの現場では必須条件になっている事が多く、当会主催のボランティア活動の参加要件になっています。これからスポーツ・災害ケアボランティア参加を検討されている方は特に、この機会にぜひ受講して下さい。

#### <概要>

参加費:会員 無料 非会員:500円 (費用は当日会場にて徴収致します)

日時: 令和 5 年 3 月 26 日(日)9:00~12:00

場所:神田消防署

住所:千代田区外神田四丁目 14番3号

#### ◆あだち五色桜マラソンのケア活動参加募集

日時:2023年4月9日(日)

8 時会場集合 16 時ごろ現地解散

会場:足立荒川江北橋緑地(日暮里・舎人ライナー 足立 小山台駅/扇大橋駅 徒歩 10 分)

<参加条件>

#### ○ケアスタッフ

- ・国家資格有資格者(鍼師、あん摩マッサージ指圧師)
- ・事故があった際に対応できる損害賠償保険に加入していること。
- ・消防署か日本赤十字病院の有効期限内の救急救命講 習終了者
- ・施術上の注意事項を守る事
- ・ボランティア保険に加入(天災コースをお勧めします。)

#### ○受付スタッフ

- スポーツケアに興味のある方
- ・ボランティアに興味のある方

お申し込み、詳細お問合せは事務局まで!!。

メール:toshikai8811@ybb.ne.jp

電話:03-3252-8811

#### ●総務局

事業局からのお知らせ等を登録会員にメール配信(都師会メール通信 ml:017-023)を行っております。メール会員登録がまだの方いらっしゃいましたら。この機会にぜひご登録ください。

#### ●広報局

引き続き、皆様からも会報で取り上げてほしい話題などを募集しております。ご遠慮なく事務局までご連絡ください。

都師会の FB も絶賛稼働中です。都師会の活動報告 や情報発信を行っていますので、ぜひご訪問ください。

#### ●組織強化局

会員数増に向け作成中の、入会案内やパンフレットでご ざいますが、今年度中には完成予定です。完成まで今し ばらくお待ちください。

#### ●保険局

保険局では、会員向けの療養費セミナーを開催しております。1 月に開催した「療養費取り扱いセミナー令和 4 年度(2)中級者編」のアーカイブ動画をアップしています ↓ ↓ ↓

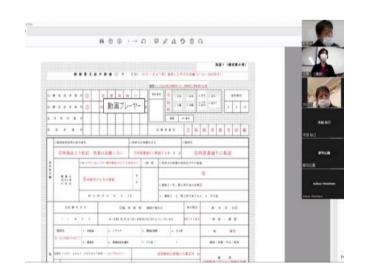
https://youtu.be/8z0tL4b41jU

※療養費取扱いに関する質問などありましたら、事務 局までお問い合わせ下さい。追って担当からご連絡致 します。

#### ●鍼灸経営研究班

新宿を中心に8店舗の薬局に、R4.11.28(月)ヘッドマ ッサージのチラシ各 10 本が入ったスタンドケースと、 1枚のポスター(A3 カラー)を貼らしてもらった。約1ヶ 月経った R5.1.11(水)の状況は、全体で約 50 本のチ ラシが、スタンドケースから減っていた。しかし、ヘッド マッサージをやって欲しいとの利用者は一人もいなか った 西新宿の薬局では、1日数万人の人が行きかう通 りにポスターを貼らしてもらっている。それなのに…。 大勢の人が見ている筈である。何故なんだろう? しか もチラシは、2 枚しか減っていない。 私の目論見は完 全に外れているのであろうか?かたや美容室でのヘッ ドスパ(ヘッドマッサージ)は大変な賑わいである。 晩新宿に向かう小滝橋通りを歩いていたら、ストレッチ やリラクゼーションの看板が更に増えていた。 鍼灸マ ッサージの看板は、一枚だけである。 岸田総理は銀座 のリラクゼーション店に通っているそうだ。 言葉の表 現に、時代の変化は確かにある。だがこの1年間は、試 行錯誤しながら、鍼灸マッサージの広告を貼り続けてい 《理事 岡野さん》 くつもりである。





# 4.療養費取扱いセミナー (初級者向け) 抜粋 part2

例	4 月		5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		同意	5日4/1~4/	<sup>′</sup> 15			9月末日まで有効		
	同意日4/16~4/30						10月末日まで有効		

~はりきゅう・あん摩マッサージ指圧 共通の注意点

同意書は診察をした上で交付されるものです。同意 日から保険を使って施術が出来ます。

6ヶ月同意は有効で その月の1日~15日までに発 行された場合、その月を含む6ヶ月有効です。

16 日~末日までに発行された場合も 同意当日から保険治療ができ、同意された月の翌月から数えて6ヶ月有効です。

### 申請方法

Q:申請書類はどこから手に入れるのか

- ・厚労省 HP( mhlw.go.jp)に掲載されている。 厚生労働省ホーム>政策について>分野別の政策一覧>健康・医療>医療保険(施策情報→その他制度内容関連)>療養費について>療養費の改定等について、より確認できます。
- ・保険者の HP に必要書類等掲載されている所もある。
- ・レセプトソフトを利用する。

#### Q申請書はどこに提出するのか

- ・個人で保険者にそれぞれ提出するか、 団体に所属していれば団体に提出する。
- ・東京都は国保と後期まとめて東京都国保連合会に提出できる。
- ・提出先は各保険者の HP で確認できる

### 入金が遅い?

実費施術はその場で全額支払いしてもらえるが保険請求の場合は自己負担金の料金のみ窓口で受け取り申請後保険者から指定口座に早い所で2ヶ月後遅ければ6ヶ月後に保険分が入金される。

正直早いとは言えないが毎月申請書を提出していれば順次入金される。

#### 治療費が安価で利益にならない?

それぞれの治療院が実費治療でどれだけ請求されているかわからないが決して安くはないと考える。

例: 仮に10日間を往療距離が直線距離2kmで療養費の試算すると、

【 鍼・灸2術の場合】(鍼灸併用1,610円+電療料 34円)×10回=16,440円

【 マッサージの場合 】(5局所×350円+温罨法 125円)×10回=18,750円

訪問診療の場合は往療料がつきます。

(4kmまで)2,300円×10回=23,000円

したがって鍼・灸併用で往療した場合 施術料+往療料で39,440円となり マッサージで往療した場合 施術料+往療料で41,750円となる

往療距離は4kmまでは2,300円で4kmを超えた場合は2,550円である。

鍼灸・マッサージ両同意書を取れれば同日に両方治療 でき往療料は片方のみの請求になるが安い治療費と考 えるか

#### 不支給になることがある

整合性が認められれば不支給になることはない。 そのために守ることは、

口頭同意しない

併給の禁止

同意期間の施術

不正請求は絶対にしない

#### 最後に 保険請求する心がけとして

- ・同意書を依頼できる医師とは長くお付き合いで信頼 してもらえる関係を築くこと
- ・皆さん自身の個性を生かして努力をすること

良い治療家になれるよう技術と人間性を 磨いていきましょう。

# 5. ご案内

#### (1) メーリングリスト参加のお願い

緊急連絡など速やかな情報共有のために、まだ登録 されてない方はおいそぎくださいませ。

皆様からお預かりした情報は、厳重に管理し、当会からの連絡での使用に限らせて頂きます。

#### (2) 都師会チャンネルご案内

youtube での都師会チャンネルはもうご覧いただけましたでしょうか?各種講習会の様子などをアップしておりますので、ぜひ是非ご覧ください!

#### メール連絡に使用する PC またはスマホから

件名に「メール連絡用」 本文に「氏名と市区町名」を記入にて

都師会 toshikai8811@ybb.ne.jp 宛に メールを送信して下さい。



# 3

# 6. <特別寄稿>第2回「鍼灸マンダラ」~東洋思想と鍼灸~ 指先の感覚を目覚めさせる 片桐正喜



#### ●手作りと指圧

「指圧ができなければ、鍼で患者を治せない」――これは亡き師・坂井秀雄先生が、特に新しい弟子に対して、口癖のように言われていたことです。

私は指圧が上手ではありません。(何年も修行していますが、かなり下手な部類であることは間違いありません(笑))

ですが、とにかく「数」と「時間」をこなしさえすれば、 指圧は下手でも「指先の感覚」は研ぎ澄まされていきま す。なので、ツボの名前や、教科書に記された位置を忘 れていても――患者を前にして、患部とその周辺をサ ッとなでて、軽く指圧すれば「ここと、ここと、ここに鍼を打てば、まあ患者はよくなるだろうな」というのが、 漠然と分かるようになってきます。

よく、鍼灸師の「手づくり」に関して「按摩十年」という言葉がありますが、10 年かかるかはともかく、指圧・按摩・マッサージが「手作り(指先の感覚を目覚めさせる)」には必要不可欠――というのは、経験的に間違いありません。

●指先の感覚は、理論を超える 現代日本の鍼灸界を見渡すと、いくつかの主たる流 派に加えて、インターネットなどにも「〇〇鍼灸法」「〇〇式鍼灸研究会」などが無数に乱立し、それぞれが独自の治療法を提唱しています。

その理論体系は、鍼灸を深遠かつ、ロマンあふれる世界に見せたりもするのでしょうが、初学者はそれを見て、あまりの複雑さ・難解さに、気後れしてしまうかもしれません。

「どうやったら、きちんと患者を治せるようになるのだろう――?」この問いに対して、私が師匠から受けた教えは、非常にシンプルでした。

「まずは、ひたすら指圧して、指先の感覚を磨け。触診 (ここでは「指圧による診断」)ができないうちは、どこに 鍼を打ったらいいか分からない」

「頭で考えて治療しても、絶対に患者は治らない。指先で感じ、指先で考えて治療(指圧・刺鍼)しろ」

「鍼灸師は人間性を磨け。これは治療結果にとても影響する。鍼の修行は"人間学"そのものなんだよ」

これは、上から順に「診断論」「治療論」「思想・哲学(強いて言えば"メンタルケア論")」ということになるでしょうか。このうちの、実際の診断・治療に共通して不可欠な基本の実践が、指圧を通して「指先の感覚を磨く」ことです。

「3年間理論と実技を学んだのに治療家になれない、 開業できない」と悩んでいる人は、「治療イコール手当 て」という基本を忘れているか、教えてもらっていない のかもしれない。……治療家であれば、他人の身体でも 痛い所に自然と手がいくようでなければ、治療という 行為は始まらない。

(それができるようになるためには)とにかく原点に戻って、手当て、指圧・あん摩・マッサージを半年から 3 年くらい一所懸命やることである。

「黙って十年揉め」と、多くの師匠がおっしやっている。 手に眼をつける、身体を知るということには、無限の深 さがある。(『医道の日本』 2016 年 8 月号)

以上は、坂井先生の寄稿の抜粋です。お笑いタレントのタモリさんや笑福亭鶴瓶さんの治療を行っていることでも知られる鍼灸師・竹村文近先生も、著書の中で、 鍼灸師の免許を取るためには、最低限覚えておくべき 経絡やツポ名がある。しかし、臨床となるとまた話は別 である。……少なくとも私の治療には詳しいツボ名な ど必要ない。診療台に横たわった身体を見て、触って、 治療すべき部位が感覚的にわかれば、それでいいので ある。

私が関先生に師事したとき、最初に受けた教えは、「まず十年間は、按摩をみっちり勉強することだ。揉んで揉んで揉み抜きなさい。そうすると、手に目がついてくる。そうでないと鍼は刺せない。手に目がつくと、鍼を刺すべきところで自然に手が止まるようになる。(竹村文近『はり100本鍼灸で甦る身体』新潮新書)

---と、ほぼ同じことを述べておられます。

#### ●教科書通りのツボに打っても効かない

逆に、知識があったとしても、この「感覚」が無いと、 なかなか患者は治せません。学生時代にお世話になっ ていたS会のT先生もよく、

「教科書通りのツボに鍼を打っても、効かねえよ!」 とおっしゃっていましたが、これは本当です。なぜなら 人によってツボの位置は全く異なっており、また人によ ってそのツボに反応が出たり、出なかったりしているか らです。

私が師匠につき、鍼を打たせてもらえるようになってまだ日が浅い頃――見よう見まねで患者に鍼を打つのですが、教科書通りに打ったつもりでも、後で師匠がチェックした際には、「こんな所、"何もない"じゃないか!」(※鍼を打っても、治療対象となる硬結や、その他の"異常"が何もないという意味)

とよく怒られたものです。あるいは、(よりによって) 打つべき所を綺麗によけて、「何もないところ」にばか り鍼を打ってしまい、師匠から

「お前、スゲエ腕だな」(これは皮肉です(笑))

と、たしなめられることもしばしばでした。なので、教科書通りの正確なツボを取っても、そのツボには治療対象となる異常が無い、あるいは「その人のツボ」の位置でないために、"何もない"ところに鍼を打ってしまう、といったことが何度も起こるわけです。当然これでは、患者は治りません。

しかし、根気強く(何百時間も)指圧を繰り返すと、 徐々に患者の身体の異常が、指先を通じて「見える」よ うになってきます。

#### ●指圧の修行

治療院では、まず弟子入りしたばかりの頃はひたすら 見学と雑用、次に抜鍼と指圧をやらされます。まだ鍼も 持たせてもらえない、指圧を始めたばかりの頃は、

「筋の走行を、解剖図とかじゃなくて、指圧の時の指 先の感覚で覚えろ」

「力で押すな!体重をかけることを覚えろ」

「パッパッと押しても、指圧は効かない。しっかりコリを潰す感覚を"確認"しながら押すんだ」

――と、今となっては「常識以前」の大原則を、(頭で分かっているつもりでも、体は"クセ"や"無意識"で動いてしまうので)何度も何度も叩き込まれました。

しばらくすると、患者に鍼を打たせてもらえるようになるのですが、指先の感覚がわからないうちは、指圧をしてから鍼を打っても、「何も無いところに鍼を打つ」という失敗を、私は何度も繰り返してしまいました。

ですが、先ほども書いたように、延々と何百時間も指 圧を繰り返すうちに、指先の感覚が少しずつ目覚めて きて、指先を通じて患者の体の中が「見える」ようにな ってきます。そうすると、徐々にきちんと、鍼を反応の あるツボに当てることができるようになってくるので す。(この感覚は、やはり言葉では表現できません。ぜひ、 実践を通して体験されてください)

あるいは、「気の感覚」なのでしょうか――患者の主訴とは一見関係なさそうな部位に、磁石に引き寄せられるように指先が引っ張られていく、という現象も起こるようになり、その頻度が上がっていきました。(そして、実はその部位が重要な治療ポイントだったりするのです)

例えば頚部の指圧をしていると、まれに患者の側頭 部に指が引っ張られるような感覚になることがあり、試 しにそこを指圧すると、患者は激痛から「アーッ!」と叫 び声を上げることがあります。これは、側頭筋に硬い (というより、独特の、粘りついた古いゴムのような) 硬結がある場合に起こることですが、側頭筋は歯ぎしり などとも関係があり――要するにストレスの蓄積を示す重要な指標です。(もちろん、主訴がそこになくても、そのようなところには必ず鍼を打ちます)

#### ●鍼灸師こそ、「手作り」のための指圧を

ですので、新参の鍼灸師がまずやるべきは「指先の感覚を目覚めさせること」であるといえるでしょう。

師匠はよく、治療院を見学に来る学生に対し、 「鍼が上手くなりたかったら、学生のうちから、資格の いらないマッサージ店で働きなさい。それが一番の早 道だ」とおっしゃっていたものですが、これは本当だと 思います。(なお、手作りで重要なのは、指圧やマッサー ジの「トータル時間」であり、「知識」や「型」の習得にある のではありません)

「これはなかなかハードルが高い……」と思う人は、 指圧の講習会などに参加して、家族や身近な人たちに 練習相手になってもらったり、あるいは実際の臨床に おいて(前揉撚・後揉撚の延長として)指圧を少しずつ 取り入れてみるのもよいと思います。

西洋医学は、「知識」さえあれば実践可能なものかもしれません。

しかし、鍼の修行は、地道で泥臭い努力――ひたすら同じことの繰り返しを、時には師匠に怒鳴られながら、 長きにわたって続けることで、初めて力を付けることが できるものです。

決して楽な道ではありませんが、その蓄積があるが ゆえに、研鑽を積んだ鍼灸師は、普通の医者では治せ ない病や症状を癒やす力を有するのだと思います。

《以上 第2回「鍼灸マンダラ」~東洋思想と鍼灸~》

公益社団法人 東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会 会報 30号

発行者 森井 貴司 2023年01月31日発行

公益社団法人 東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会広報局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 37-4

TEL 03-3252-8811 FAX 03-3252-8813

